

カーディフ グループ、“こころを育てる「親子タグラグビー教室」”を実施

カーディフ グループ(カーディフ生命保険会社及びカーディフ損害保険会社、日本における代表;青木淳、所在地;東京都渋谷区)は、全社員が参加できる活動を通じて「教育支援」「地域社会」「環境保護」「人権・多様性の尊重」に貢献することをCSRの基本方針として、社員ボランティアを中心とした社会貢献活動を行っています。

このたび、「教育支援」及び「地域社会」への貢献を目的とし、幼児教育の質的向上を目指し文部科学省より委託研究事業を行っているNPO法人幼児教育従事者研究開発機構(理事長;奥園淳子、所在地;東京都文京区)と協力して、“こころを育てる「親子タグラグビー教室」”を渋谷区内の複数の小学校で実施することになりました。

当プログラムは、**タグラグビー※**を通じて、6つのこころを体感し、チームワークの重要性を体験できることに大きな魅力があります。

<6つのこころ> 1.挑戦 2.寛容 3.配慮 4.敬意 5.感謝 6.傾聴

5月29日(土)、“第1回こころを育てる「親子タグラグビー教室」”が、渋谷区立山谷小学校(校長:飯村信夫、所在地;東京都渋谷区)の児童とその保護者を対象に開催されました。当日は、ラグビー日本代表テクニカルコーチを務めた村田祐造氏の指導の下、前半1時間は、子どもと大人のコミュニケーションを重視した準備運動や遊びを取り入れたプログラムを行い、後半1時間は実際にゲームに挑戦しました。

また、カーディフグループからは、代表 青木とその家族をはじめ、社員とその家族15名が参加し、子どもたちとのふれあいを通じて、チームワークの重要性を共に学びました。



写真:渋谷区立山谷小学校校庭にて

山谷小学校からは児童とその保護者が53名、カーディフ グループからは15名が参加し、総勢70名近くのビッグイベントに!

チームで協力しトライできた喜びをみんなでわかちあう姿が見られるなど、児童たちは積極的にタグラグビーに取り組んでいた。

◀児童とタグラグビーの楽しさを共感する
 カーディフ グループ代表 青木

プログラム終了後には、参加児童全員にカーディフのロゴ入りラグビーボールがプレゼントされ、また当教室の目的が書かれたカードが参加者全員に手渡されました。更に、山谷小学校には、記念としてラグビーボールが贈呈されました。

当教室は、7月10日(土)には渋谷区立広尾小学校、10月3日(土)には渋谷区立笹塚小学校での開催が決定しており、更に年内に渋谷区内の複数の小学校での実施を目指しています。

カーディフグループは、“こころを育てる「親子タグラグビー教室」”を「教育支援」の主たる活動プログラムとして、来年以降は日本全国に広げていきたいと考えています。

※タグラグビーとは

タックルのかわりに腰に付けた2本のタグをお互いに取りったりり取られたりしながら、ボールを持ってコートを自由自在に駆け回り相手ゴールを目指すスポーツで、誰もが安全に楽しめる。



↑プレゼントされたカーディフロゴ入りラグビーボールとカード

「自宅でも親子でパス練習するなど、ふれあいの場ができてよかった」の感想も!

カーディフ損害保険会社 お客様相談室

TEL:03-6415-6051

受付時間 9:30~17:45(祝日、年末年始を除く月曜日~金曜日)